

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		04 03 12	中期総合計画主要施策番号		3-04		担当課	部・課	社会部長寿福祉課	
事業名		信州熟年者地域活動支援事業				内線		2437		
						E-mail		choju@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・団塊世代等に対して、地域活動へ参加するきっかけを提供することにより、今まで培ってきた知識や経験をいかし地域活動に参加し、地域の担い手として活躍することを支援する。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・団塊世代(県内に約11万人)が退職期を迎えるなど、定年後多くの者が地域活動に取り組むことが見込まれるが、個々の者のニーズが実際の地域活動にうまく結びついていない場合がある。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・定年後何かやりたいという者は多いが、具体的に何がやりたいかが明確でなかったり、どこに相談したらいいのかもわからない。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・団塊世代等に対して具体的事例を紹介するなど地域活動へ参加する意識を高めるとともに、ボランティア活動などの地域活動を具体的に紹介・支援している団体等を広く周知する必要がある。								
		・団塊世代等の地域活動に関する相談に対応する「信州熟年者地域活動支援窓口」の設置(長寿福祉課・地方事務所福祉課) ・地域活動に関する関係機関、事業などをまとめた「地域活動ハンドブック」を作成し配布								
		事業内容								
	実施期間	H19 ~ H20		根拠法令等						
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	・団塊世代等が地域活動に参加し、地域の担い手として活躍する。		・ハンドブックを作成し配布するとともに、支援窓口で相談に応じる。			・ハンドブックを4,000部作成し、地方事務所、市町村、市町村社会福祉協議会、企業に配布するとともに、支援窓口で相談に応じた。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	1,103	867		国庫・県単		国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	560	665		実施方法		直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	280	382		歳出節別内訳等		需用費:366	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.20	0.20		(単位:千円)			
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	1,988	2,095					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	地域活動参加セミナー参加者		人	110	-	-				
	地域活動ハンドブック配布部数		部	3,000	4,000	-				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明 (廃止)				
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		・支援窓口の設置、ハンドブックの作成・配布及びホームページの開設等により支援体制が整ったことから廃止とするが、支援窓口及びホームページによる情報提供は継続していく。							